



県では、2007（平成19）年7月に、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の望ましい将来像や政策の基本方向などをとりまとめた「神奈川力構想・基本構想」と、2010（平成22）年度までの県の取組みを明らかにした「神奈川力構想・実施計画」を策定しました。

2008（平成20）年度は4年間の実施計画の中間年である2年目に当たるため、戦略プロジェクトの実施状況や計画策定後の社会・経済環境の変化などを踏まえ、計画内容の点検を行い、新たな取組みを追加したところです。

これらの計画に基づき、「神奈川力を高め、新たな時代を創造する」という基本理念のもと、県民の皆様一人ひとりが生き生きと心豊かにくらすことのできる地域社会の実現を目指して、さらなる取組みを進めているところです。

計画の推進に当たっては、取組みの方向が県民の皆様が望む方向と合致しているか、また、現在の社会・経済環境の中で効果的な手法となっているか、さらに、「神奈川力」をより一層高めていくことにつながるかなどについて、県民の皆様のご意見を頂きながら、政策運営を進めていくことが必要だと考えています。

そこで、「神奈川力構想・実施計画」が実際にどの程度進んでいるのかを、分かりやすい形で県民の皆様にお示しするため、「神奈川力構想・白書2008」を作成いたしました。

この白書では、戦略プロジェクトに掲げた各年度の目標の達成状況を数値やランクでお示するとともに、各種調査・統計などを活用した多角的な分析による総合評価を行った上で、総合計画審議会の評価も頂くなど、客観的な視点で検証しています。

できるだけ多くの県民の皆様がこの白書をご覧いただき、ご意見・ご提案をお寄せいただきたいと思います。皆様のご意見を今後の県の施策・事業に反映させることで、よりよい県政の実現を図ってまいりたいと考えています。

今後とも、県民の皆様や市町村の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成21年6月

神奈川県知事 松沢成文